

秩父市生涯活躍のまちづくり（秩父版CCRC）実現のステージへ

～公民連携「花の木プロジェクト」オープン記念式典を挙行～

市は、長年の姉妹都市関係にある豊島区との連携による「生涯活躍のまちづくり」のモデル事業として、アクティブシニアを対象とした「花の木プロジェクト」を公民連携により進めてきました。

10月30日、地域開放型拠点施設「花の木交流センター」およびサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）「ゆいま～る花の木」のオープン記念式典を、高野之夫豊島区長をお迎えして挙行了しました。近隣の秩父さくら幼稚園の園児の皆さんによる合唱も披露され、心温まるセレモニーとなりました。



ご利用ください！ 「花の木交流センター」

地域開放型拠点施設として、移住者の方だけでなく、もともと地域にお住まいの方とも交流の輪を広げていくような場づくりを進めていきます。毎日、午前9時～午後5時（年末年始を除く）の間、開放しています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

問花の木交流センター
（上町3-19-13）
☎26-7023



「ゆいま～る花の木」居室内覧会

サ高住「ゆいま～る花の木」（連携事業者(株)コミュニティネットが整備）では、居室内覧会を定期的に実施しています。実際のお部屋をご見学いただけます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

とき 12月18日(水)・22日(日) 午前11時30分～

ところ ゆいま～る花の木
（隣接の花の木交流センターに集合）

定員 各回10人（要予約）

問・問(株)コミュニティネット ☎0120-972-583



おかげさまで、市の平成30年度のふるさと納税による寄附受入額は3億8,231万3千円（受入件数4,099件）で、埼玉県内第一位となりました。市にお寄せいただきました温かいご厚意に心より感謝申し上げます。

ふるさと納税制度は、平成20年度に創設され、多くの人が、地方で生まれ、育ち、進学や就職を機に都会に出て納税をしますが、税収を得るのは都会の自治体で、自分を育んでくれた「ふるさと」の

ふるさと納税寄附額

県内第一位！

市長 久喜 邦康



「和を以て
貴しと為す」

自治体には税収がないことから、自分の意思でいくらでも「ふるさと」の自治体に納税できる制度があってもよいのではという問題提起から生まれました。

昨今、「ふるさと納税」といえば「返礼品」についての議論も多くありますが、市にどんな名産品があるのか、どんな見どころがあるのかといった視点をきっかけに、秩父に興味を持ってもらい、秩父にお越しいただく方を増やしていくことも、地域経済の活性化につながると思っています。また、人口減少で税収が減っている自治体にとっては、ふるさと納税制度は貴重な財源となるとともに、関係人口増加の観点からも、大変重要な制度であると考えています。

今後も秩父の豊かな資源を生かした返礼品や体験型の返礼品を取り入れ、市の魅力を全国に発信してまいります。ご友人やご親戚など市外にお住まいの方に、ぜひ秩父市へのふるさと納税をご紹介します。いただきますようお願いいたします。

お気軽にお越しください！ ふらっと市長室

●12月18日(水)
9:00～10:00 大滝総合支所
11:00～11:30 本庁舎1階
※日程は変更となる場合があります。
問秘書広報課
☎22-2201

CCRCとは？ アメリカ発祥の考え方で、中高年齢者が元気なうちに地方などに移住して

③ 健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるコミュニティのこと。